

## 会長挨拶



# クラブの原点を確認し、 更なる「つながり」を築き上げよう

国際ロータリー第2520地区 2019-20年度築館ロータリークラブ  
会長 大場 伸也

この度、2019-20年度築館ロータリークラブの会長職を申し受けました。

私は2013年1月の入会ですので、本年度で入会7年目となります。まだまだ若輩者ではありますが、築館ロータリークラブ第56代会長に就任させて頂き、この一年間を諸先輩方の思いをつなぐ年度にしていく所存です。

本年度の国際ロータリークラブのテーマは、「ROTARY CONNECTS WORLD ロータリーは世界をつなぐ」です。

この「つなぐ」には「4つのつなぐ」の意味があります。①リーダーをつなぐ、これにより会員増強につながる。②家族をつなぐ、これにより家族志向の奉仕活動につながる。③職業、専門知識をつなぐ、リーダーシップ・自己研鑽を高める。④地域社会をつなぐ、広報活動に努めるです。

このテーマに即して、私の本年度のテーマを「クラブの原点を確認し、更なる「つながり」を築き上げよう」と致しました。

私が考えるクラブの原点とは、築館ロータリークラブが50年以上に渡りこの地域で活動を続けてきた様々な奉仕活動です。

以下の活動を本年度の築館ロータリークラブの活動目標としてまいります。

1. 地元高校を対象とした就職模擬面接の実地を代表とする職業奉仕活動。
2. 地域の清掃活動を中心とした社会奉仕活動。
3. 地元3中学校を対象とするクラブライラの開催を通じた、青少年奉仕活動。
4. 継続した米山奨学生の受け入れと支援を行う、国際奉仕活動。

基本的には従前の活動と同じ内容ではありますが、地域で認められる存在とは継続した活動実績ではないかと考えています。震災支援等のその時々に必要なとされる活動も非常に重要な奉仕活動です。しかしながら、地域に密着した継続的な活動を通して築館ロータリークラブの存在を次世代へもつなげることが、さらに重要な奉仕活動と考えています。

私は今まで様々な研修会に参加し、他のクラブの活動や会員の出席状況を拝見いたしました。そのような中で聞くことは、会員の高齢化による活動への不参加です。また、現役世代の仕事多忙による例会への不出席でした。これには、各人の様々な都合があるとは思いますが、その是非を私は申しません。

しかし、このような他クラブの状況と比較し、我が築館ロータリークラブの会員の諸先輩・同世代の仲間の皆様のロータリーの奉仕活動への従事は、本当に誇りに満ちた思いになります。

この、伝統を次世代にも「つなぐ」ことが我々の世代の責務と考えます。我々世代が行った活動を通して、次世代への引き継ぐことが出来れば、ロータリーの奉仕活動が正に輪のように永遠に続くことになります。

しかしながら、このような奉仕活動は一人一人の力ではなかなか思い通りには行えません。仲間の皆さんと互いに協力し合い活動してこそ成し遂げられるものと考えています。

本年度はこの「つながり」を合言葉にし、会員の皆様と一緒に1年間、頑張りますので、どうかよろしくお願い致します。